



ユニセフは、どんな仕事をしているの



子どもの^{けんり}権利の保護、保健・衛生・栄養の向上などの仕事をしているんだよ。

ユニセフは、1946年の国連（国際連合）総会で設立された国際機関です。最初の名前は^{こくれんこくさいじどうきんきゅうきん}国連国際児童緊急基金で、その英語名の単語の頭文字をならべた^{ユニ}UNICEFが、^{セフ}略称になりました。1953年に国連児童基金になりましたが、略称はそのままです。本部は、アメリカのニューヨーク市に置かれています。日本では、ユニセフの日本国内委員会として、1955年に設立された日本ユニセフ協会が、活動を行っています。

ユニセフの目的

ユニセフの目的は、子どもの権利を保護し、子どもにとって必要な事を行い、子どものかくれた才能を十分に引き出せる機会を増やすことです。1989年の国連総会で、「児童の権利に関する条約（子どもの権利条約ともいう）」を結ぶことが決められてからは、その条約に定められた、子どもの基本的人権の保護を、使命としています。特に、戦争・災害・貧しさ・暴力などの^{えんじょ}ぎせいとなっている子どもたちと、最も^{ゆうせん}援助を必要としている国が、優先して援助を受けています。

ユニセフの活動

ユニセフは、次のような活動を行っています。活動資金のために、^{ほきん}募金や寄付金をお願いしたり、グリーティングカード・年賀はがきなどをあつかう。^{はってんと}発展途上国の保健・衛生・栄養の向上のため、^{エイ}予防接種用のワクチンやビタミンAなどをあたえたり、^{いど}井戸をつくったりする。子どもが、体や精神の発達に有害な仕事で働かされたり、兵士にされたりするのをなくすため、^{とうろんかい}国際シンポジウム（討論会）や写真展を開くなどのキャンペーン（組織的な運動）を行う。各国、特に発展途上国が、子どもを^{さいゆうせん}最優先する^{せいさく}政策を実行できるように^{しえん}支援する。